

慶應義塾産官学連携ポリシー

慶應義塾の使命は、人を育み、学問と価値を創り、世界に貢献するために、感動の湧き出る教育を実践し、新しい知的価値の創造と蓄積に精励し、新たな実業の世界を開拓することによって、未来に向けて社会を先導することにあります。

事実、慶應義塾は、安政5年(1858年)福澤諭吉による学塾の創設以来長年にわたり、産業界、官界等との密接な連携を推進し、知的価値の創造を通じた実業世界の開拓を先導して、新しい社会のあり方を方向づける幾多の実績を積み重ねてまいりました。

この歴史と実績に裏付けられた産官学連携の経験を踏まえ、これからの慶應義塾は、産業界、官界等との連携をさらに深め、知的価値創造を通して未来の実業世界開拓を図るオリジナリティに溢れた活動を展開してまいります。

慶應義塾に所属し、知的価値創造を通じた実業世界開拓のために産官学連携に関わる者は、独立自尊の精神をもって自らの思想とアイデアと成果に自ら責任をもつとともに、実学の精神をもってそれらを積極的に社会に還元してまいります。

また、慶應義塾は、教育・研究に携わる機関として、研究者の研究深化を支援するとともに、産官学連携を通じて、その研究成果の社会還元のための基盤整備を組織的に推進する役割を担っていきます。

平成17年4月1日

慶 應 義 塾 長